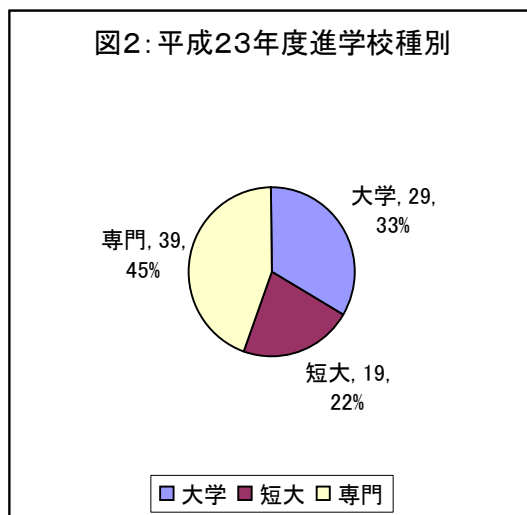
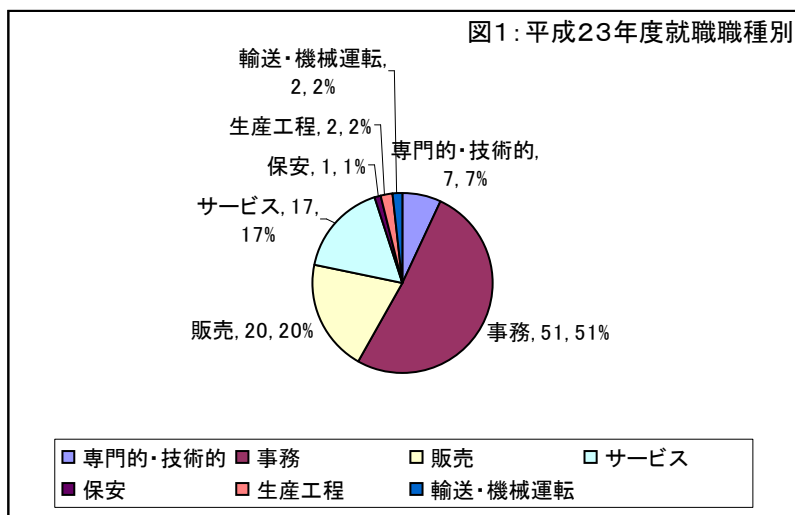


第49回卒業生も3月1日に無事女子商を巣立っていきました。さあ、これからは50回生、51回生となる2年生、1年生の皆さんの出番です。今の時期は新年度への助走期間ととらえてしっかりと準備しましょう。

## 平成23年度就職希望者内定率100%達成！（進路状況報告）

その49回生ですが216名のうち、学校就職希望者100名全員が内定を頂くことが出来ました。（自営などを除く）職種については図1を参考にして欲しいと思いますが、事務職が50%以上、販売職が20%と販売職の方が多かった昨年（平成22年度）と逆の結果となっています。平成21年度までは事務職への就職の方が多かったのですが、割合としては今年度の方が多くなっています。

進学希望者についても、図2の通り人数的には例年と変わらずですが、以前報告したとおり国立の山口大学に合格、県で1名だけに与えられる商業校長会の推薦を受けるなど内容的に非常にレベルの高い結果となっています。



## 進路体験発表が行われました。

1年生は学年集会形式で、2年生はクラスでのLHR形式でそれぞれ進路実現を成し遂げた先輩方の体験談や努力話を聞かしてもらいました。高い志を持って、ある時は涙を流しながら、またある時は寝る間を惜しんで努力し、目標を達成した先輩方の話を聞いてみなさんは何を感じましたか？さっそくアドバイスを生かし、動き始めているのでしょうか？



（左は1年生進路体験発表、右は2年生進路体験発表の様子）

## マナー講座も行われました。

中村早岐子先生を講師にお迎えして2月に1年生、3月に2年生を対象としたマナー講座が行われました。これは社会で活躍できる女性であるために、本校での教育に加えて行われているものです。全国を飛び回って、多くの企業研修での指導経験をお持ちの中村先生から、実際にその企業研修において指導されていることや高校生として社会に出る前に身につけておかなければならないことを指導していただきました。笑顔の作り方、挨拶の発声、お茶の出し方など各クラス50分という短い時間ですが、内容の濃い講座でした。さあ、みなさんも毎朝鏡の前で「リッキー、ミッキー、ウィッキー！」で笑顔を作って登校し、気持ちの良い挨拶で一日を始めましょう！



(左は1年生、右は2年生でのマナー講座の様子)

## 『雨の街』

2006年12月29日／会社は私を〇〇営業所へ転勤させた。  
私は昨年あんなに業績を上げたのに。／この街で知っている人は誰もいない。  
毎日宿舎で不遇を囲う日々／今年の仕事も今日で全て終わった。  
仕事が終わった後、一人で街をぶらぶらした。  
今日は本当に寒い。まるで冷蔵庫の中に入っているようだ。  
ちょうどそんな時、雨が降り出した。／こんなに早く降り出すとは思っていなかった。  
ああ…傘がない。／冷たい雨に私の心も冷えている。  
遠い昔、私の恩師が、最後の講義でこのように言われました。  
「人生は、良いことよりも辛いことの方が多くある。」  
「そんな時、諸君のポケットに百円の硬貨しかなかったら？」  
「諸君はいったい何を買いますか？」  
答える学生は誰もいなかった。  
「…諸君、一輪の花を買い求めなさい。そしていつも心の貴族たれ。」と。  
私は花屋を探した。／五本の赤い薔薇を買い求めた。  
薔薇の花は愛の象徴だ。店を出ると気恥ずかしくて、頬は赤くなっていた。  
雨はやまない。それどころか、益々ひどくなっていた。  
しばらく雨宿りして身体を温めよう。近くに古い喫茶店を見つけた。  
「コーヒーは苦い… 人生も苦い…」／「コーヒーに砂糖を… 人生には愛が…」  
先生、薔薇の花は買い求めましたが、薔薇の花心は買えません。  
どうして…、私はこらえきれず声をたてずに泣いた。  
もう外は漆黒の闇となり、雷を交えた雨になっていた。  
底冷えする寒さの中、通行人は楽しそうに通り過ぎて行く。  
紅い薔薇を手に氷雨に濡れながら宿舎へ帰り着いたとき。  
管理人のおばさんが言った。「まー濡れ鼠じゃないの！」  
「その薔薇は？」 「どうしたの…」 「いい人？」  
人生は思い通りにいかないもの、現実は時に残酷なもの。  
しかし、もうすぐ新しい年がやってくる。

この詩は、就職指導員の中里先生が書かれた詩です。ポケットに百円しかなかったら…皆さんなら何を買いますか？心の貴族たるために何をかうでしょうか？不遇をかこった時ほど心に一輪の花を咲かせ、前向きでありたいものです。